

平成27年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 産業振興 商工労働
こども未来 部 こども 室 こども若者企画 課

1. 基本情報

1103

施設名	伊丹市立労働福祉会館・青少年センター（スワンホール）		
施設の設置目的	勤労市民の福祉の向上を図り、青少年の健全な育成と福祉の増進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち・未来を担う人が育つまち 施策目標： 活力ある地域産業の振興と創出・子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり 主要施策： 働きやすい環境づくり・子どもの育ち・若者の自立を支援する環境づくり		
指定管理者の名称	伊丹労働者福祉協議会 (団体の住所又は所在地) 伊丹市昆陽池2丁目1番地		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日		
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	利用者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設利用者数 (目標値の内訳： 労働福祉会館155,000人、青少年センター40,000人)	
	今年度の目標値	195,000	通期の実績値 175,365

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H23	H24	H25	H26	H27 (上期)	H27 (通期)
	来館者数(人)		171,699	174,161	184,370	166,686	171,440	81,532
貸し室稼働率(%)		43	41	41	43	44	41	43
講座開催回数(回)		58	33	55	53	36	33	37
講座参加者数(人)		624	495	671	428	465	555	769

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成27年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	83,890	指定管理委託料	83,888
	事業収入（講座料収入等）		事業収入（講座料収入等）	
	その他		その他	
	合計	83,890	合計	83,888
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	32,390	人件費	33,924
	維持管理経費	50,749	維持管理経費	47,264
	事業等経費	872	事業等経費	868
その他	▲ 121	その他	▲ 158	
合計	83,890	合計	81,899	
<収支差>		<収支差>		
収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	1,989	

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担)※ <単位:千円>		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入		27,491	26,991	29,748	28,403	29,235
(内、使用料収入)		26,367	25,976	28,628	27,916	28,954	-
市の支出		77,948	78,356	81,583	82,620	84,399	-
(内、指定管理委託料)		77,948	77,525	80,667	81,831	83,888	-
実質経費（歳出－歳入）		50,457	51,365	51,835	54,217	55,164	-

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果						
		指定管理者自己評価		施設担当課評価				
		評価	特記事項	評価	担当課所見			
管理 体制等 に関する 事項	維持管理業務 の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	B	(1) 環境への取り組みは環境マネジメントシステムで独自目標を設定し取り組んでいる。 (2) 修繕業務は、10万円を越える案件について事前協議し適時適切に実施。 (3) 備品の使用不可分の処分や修繕も随時協議。	B	仕様書に基づき概ね適正に管理されている。市環境マネジメントに基づき、夏季・冬季の節電対策にも取り組んでいる。電気料金が安定したことにより予算内執行にできた。		
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B					
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B					
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B					
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B					
	職員配置など の実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B		職員研修はOJTを中心に取り組み遅滞なく業務遂行出来るまでレベルアップ。		B	適切な職員配置と適時研修を行い、利用者に安全かつ快適に利用してもらえるよう配慮している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B					
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B					
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B		緊急連絡網を整備し、事務所内と夜間対応として警備室に掲示。		B	豪雨による施設の被害状況や事故対応など連絡体制を確立し、適切に取り組んでいる。
避難訓練を実施しているか。		B						
運営等 に関する 項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	C	一般利用の申込み受付期間を6ヶ月前としているが、市内施設の改修工事ともあいまって、特定施設(多目的ホール・体育館)で予約が取りにくいと月初受付時に利用者からの指摘がある。	B	行政機関の利用については適正に行うよう市内部での周知を図る。その他担当課に直接寄せられる利用者からの要望等については、適時協議を行い改善を図っている。		
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B					
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B					
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B					
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	プライダル事業は通期のご利用者が0件だった。	B	勤労者福祉事業や結婚式事業をはじめ自主事業にも積極的に取り組んでもらいたい。		
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	C					
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	利用者情報は施錠管理し、情報提供は『ホームページ』『青少年センター通信』『スポーツ広場の開放』『開催行事ボスター』掲示・掲載し提供。	B	個人情報の管理は適切に処理されている。ホームページでの情報発信にも積極的に取り組んでいる。		
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B					
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B					
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適正に運営し、結果については毎月市へ報告している。	B	27年度通期は概ね適切に運営されている。		
経理処理は、適切に行っているか。		B						

「評価」欄の記号の意味

「A」=協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」=協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」=協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」=当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	全体的には協定及び仕様書の基準を満たす水準となっている。会館利用者は微増した。今後も施設利用者のニーズに応えるため、アンケート結果のフィードバックするなど、所管課との連携を図りつつ更に利用しやすい施設となるよう改善を続けてもらいたい。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「A」=管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」=管理運営が優れていると認められる。

「B」=管理運営が適正であると認められる。

「C」=管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成27年11月1日 ~ 平成28年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	施設利用の満足度 満足 67% ※普通24%を除く	利用設備点検の強化 利用者アンケートの常時実施とフィードバック 施設内美化・緑化の推進 ホームページの適時更新と内容充実 職員接遇研修の実施
	施設の清掃 満足 70% ※普通26%を除く	
	165 職員の対応や接遇 満足 60% ※普通30%を除く	

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
なし	